

会員 各位
関係者 各位

(一財) 東京都スキー連盟
競技本部

S A J 公認大会におけるフッ素ワックス使用による失格

発生要因の共有

平素より、当連盟の事業運営にご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。
標題の件、東京都スキー連盟では FIS 通達に基づき 22 - 23 シーズンよりフッ素ワックスの使用禁止をお願いしております。

また、24-25 シーズンよりランダム（無作為）に抽出された国内公認大会においてフッ素ワックス検査が開始されたことをご承知のことと思います。先日開催された他県連主催の S A J 公認大会にてフッ素ワックス使用による失格（ICR 2 2 2 . 8）が発生しました。

どのような状況で発生したのか、クリーニング方法等について共有いたしますので、会員の皆様におかれましては改めてフッ素ワックス使用禁止にご協力お願い申し上げます。

◆フッ素ワックス使用による失格（ICR 2 2 2 . 8）の原因

- 1、選手の使用していたワックスはフッ素フリーであったが、使用していたブラシおよびコルクについては以前から使用していたものであり、そこに残留していたフッ素成分がスキーに付着し検査で検出された。

◆クリーニングの方法

1、スキー板

- ・ストーンマシーンを入れただけだとフッ素ワックスが残る場合があるため、ワックスリムーバー※で最低 2 回洗浄を行う。
- ※フッ素フリーのフッ素除去剤を使用するとよい。フッ素除去剤の中には成分としてフッ素が含まれているものがあるため、成分を確認すること。
- ・その後、最低 2 回フッ素フリーのワックスでワクシングし、スクレーピングを行う。

◆チェーンナップ用品

- ツールボックスは、ワックスリムバーでキレイに拭きとる。
- ブロンズブラシはブラシクリーナーなどに浸し、ブロアーで吹き飛ばす。乾いたら掃除機で吸う。
- スクレッパーは、ワックスリムバーでキレイにふき取る。
- アイロンは、フッ素フリーワックスを溶かしきれいなペーパーでふき取りを繰り返す。
- チェーンナップ用のエプロンや、作業着が滑走面に触れることによってフッ素が付くことがあるのできれいに洗濯する。
- 柔らかいブラシや、ウール、フリース素材のものは買い替えを推奨する。

◆その他

- スキーバッグは、掃除機で吸うまたはブロアーで吹き飛ばしゴミを取り除く。

以 上